

持続可能なエネルギー社会を創る

—『日本エネルギー計画2050』を構想するために—

2017年7月23日(日)

9:30~18:00

法政大学多摩キャンパス 百周年記念館国際会議場

(所在地：町田市相原町4342) JR中央線「西八王子駅」よりバス20分、
京王線「めじろ台駅」よりバス10分、JR横浜線「相原駅」よりバス10分

プログラム

9:30	歓迎の挨拶	サステナビリティ研究所所長	尾川 浩一
9:35	開会	サステナビリティ研究所	壽福 真美
9:40	基調報告	環境エネルギー政策研究所所長	飯田 哲也
10:30	報告Ⅰ	サステナビリティ研究所	壽福 真美
10:50	報告Ⅱ	地球環境戦略研究機関	藤野 純一
11:20	報告Ⅲ	WWFジャパン、システム技術研究所	槌屋 治紀
11:50	昼食		
13:00	報告Ⅳ	東京大学	荻本 和彦
13:30	報告Ⅴ	東北大学	明日香 壽川
14:00	報告Ⅵ	愛知学院大学	吉田 文和
14:30	休憩		
14:50	討論		
18:00	閉会		
18:30	意見交換会		
20:00	終了		

現在の世界と日本の社会・エネルギー構造は、持続不可能である。第1に、未来の世代が現在の「豊かな生活」を継承することはできない。化石燃料をはじめとする天然資源は無限ではない。しかも、人間の生存基盤である自然、生態系は汚染、破壊され続けている。第2に、工業先進国の経済成長と浪費の社会は、新興国、開発途上国の模範とされているが、72億の人々が現在のアメリカ、ヨーロッパ、日本の「豊かな生活」を実現することは不可能である。環境容量をはるかに超えるからである。他方、数億人もの人々がエネルギーを利用できないか、十分に利用できていない。第3に、世界のどの国でも、経済的・社会的・文化的不平等がますます拡大している。一部の人間が富・権力・文化を支配し、多くの人々が貧困と抑圧、差別と不寛容に苦しんでいる社会は、分裂と対立、不信感と憎悪を必然的に生み出すからである。

私たちは、今、このような従来の持続不可能な道を歩むのか、それとも持続可能な道を選択し創造するのか、歴史的分岐点に立っている。

- 事前申し込みは不要です。当日直接会場にお越しください。
- 公共交通機関をご利用ください。
- 受付開始は、9時です。

参加費
無 料

主催：法政大学・サステナビリティ研究所

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342
電話：042-783-2180 / ファックス：042-783-3780
メール・アドレス：sus@hosei.ac.jp

